



市内で行われたイベントや行事、まちの話題を写真と一緒に紹介します。

また、みよし市ホームページでは「Topics(まちの話題)」と「市政番組「みよしTODAY」動画配信」でイベントや行事の様子を紹介しています。🌐<http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp/>



10周年おめでとう!

黒笹小学校創立10周年記念式典

平成19年4月に開校し、今年で創立10周年を迎えた黒笹小学校。10月28日、その記念式典が黒笹小学校で行われ、マーチングバンド部の元気いっぱいの演奏で幕を開けました。小野田賢治市長が「保護者や地域の皆さま、先生などたくさんの方の支えに感謝の気持ちを持って、失敗を恐れずさまざまなことにチャレンジしてってください」と祝辞を贈りました。6年生児童の代表3人による発表「10年のあゆみ」で開校当初からの写真の数々が紹介された後、伝統を大切にしながら今後の黒笹小学校をさらに良い学校にしようと決意を胸に、全員で校歌を斉唱しました。式典後は、各教室で「ぼく・わたしのお気に入りの黒笹小」と題した絵を描く会が行われ、児童たちは正門や中庭などの自分の好きな場所の絵を一生懸命描いていました。女子児童の一人は「入学式の日初めて通った正門がとてもきれいで、強く印象に残っています」とお気に入りの場所について話していました。





名前の一文字に思いをのせて

てづくり絵本教室



手作り絵本を作る楽しさやその温かさを知ってもらおうと10月13日、サンライブでてづくり絵本教室が行われました。この教室は手作り絵本の会もこの皆さんの協力の下で開催され、自分や大切な人の名前であいうえお作文を考えて作る「なまええほん」作りに挑戦するというもの。参加者は子どもや愛犬などの名前で文章や物語を考えて、世界に一つだけのなまええほんを完成させました。参加者同士で作った絵本を見せ合いながら、それぞれの絵本への思いやアイデアについて話し、楽しく交流していました。参加した女性の一人は「作るのはとても大変でしたが、皆さんと一緒に意見を交わしながら作成できたので、完成させることができました。子どもの良い記念になりました」と話していました。なお、完成した絵本は11月15日までサンライブで開催されている、てづくり絵本展で展示しています。



雨でも大にぎわい

第29回東海北陸みよし矯正展



地域の皆さんに矯正行政に対する理解を深めてもらおうと10月21日と22日の2日間、名古屋刑務所で第29回東海北陸・みよし矯正展が開催されました。1日目となる21日は雨にもかかわらず、市内外からたくさんの方が訪れました。全国の刑務所の受刑者によって作られた製品の展示・即売の他、ろくろ体験や組みひも作りなどの刑務作業の体験コーナー、性格検査コーナーなどのさまざまなブースが設けられ、来場者たちは家族や友人と一緒に楽しみながら会場を巡っていました。また、三好いじやんおどり普及会オドリマックス!やオーエスユーOS☆Uなどによるステージイベントが行われ、会場を盛り上げていました。性格検査をした男の子の一人は「自分が思っていた性格と違う結果が出たので、びっくりしました」と興味深そうに話していました。

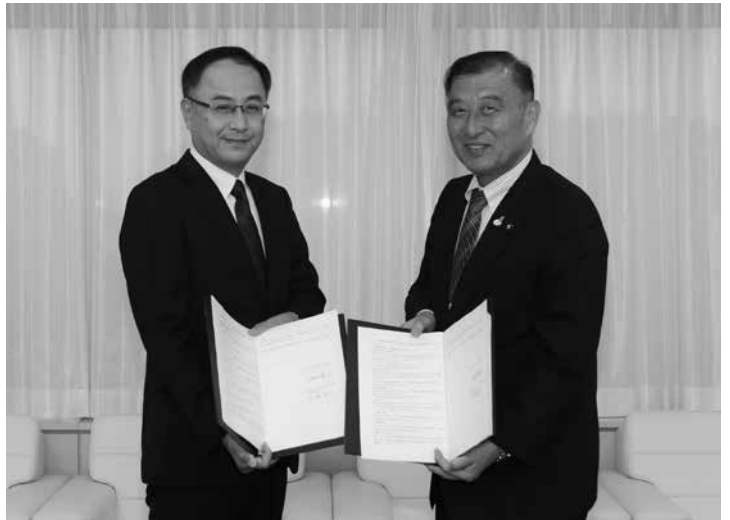


名古屋刑務所が避難場所に

災害時における避難場所使用等に関する 協定締結式

10月16日、みよし市役所で名古屋刑務所との災害時における避難場所使用等に関する協定締結式が行われ、小野田市長と名古屋刑務所長の大橋直三おおはしなおぞうさんが協定書にサインしました。この協定は、大規模災害が発生したときに名古屋刑務所の施設である道場とグラウンドを避難場所や防災関係機関の活動拠点

などとして使用するためのもの。小野田市長は「今回の協定の締結は、市にとって大変心強いです。災害対策を進めることができ、感謝しています」とあいさつ。大橋さんは「地域の皆さんには名古屋刑務所を好意的に理解していただいていますので、災害のときに少しでも貢献したいと思っています」と話しました。



ママ友との楽しいひととき

子育てママのリフレッシュ教室

子育て中の母親同士の交流を深めてもらおうと10月24日、保健センターで子育てママのリフレッシュ教室が行われました。この教室はヘルスパートナーが主催し、全5回で運動やレクリエーション、調理実習などを行うもの。4回目となるこの日は11人が参加し、フラダンスに挑戦しました。参加者たちは用意されたカラフルなスカートと装飾品のレイを身に付けて、ヘルスパートナーの皆さんからアドバイスをもらいながら、音楽に合わせて楽しく踊りました。参加した女性の一人は「ヘルスパートナーの方からフラダンスは笑顔が一番大切だということを教えてもらい、気持ち良く踊れたので気分がすっきりしました」と話していました。





2020年の東京オリンピックを見据えて、その舞台で活躍が期待される高校生たちを応援しようと10月27日、三好高等学校と三好公園武道場でポカリスエット「エールと、ともに」エールキャラバン2017が行われました。これは、大塚製薬株式会社が愛知県と健康づくり等に関する包括的連携協定を締結したことに伴い開催されたもの。

三好高等学校の全校生徒を対象に、オリンピック3連覇を果たした柔道家の野村忠宏さんのもらたひろによる講演会が行われました。野村さんは自分の柔道人生においての苦労や心掛けたことなどを語り「今という時間を大切に、皆さんそれぞれの生きがいを見つけてください」と生徒たちへエールを送りました。講演会の後、柔道部員に対して野村さんの得意技である背負い投げや打ち込み練習の指導が行われると、部員たちは野村さんのアドバイスを真剣に聞いて熱心に取り組んでいました。

レジェンドからのエール

ポカリスエット「エールと、ともに」
エールキャラバン2017



スポーツの秋を楽しもう

三好さんさんフェスティバル



家族や友達と一緒にスポーツを楽しんでもらおうと10月29日、南部小学校と南中学校、明越会館を会場に三好さんさんフェスティバルが行われました。これは総合型地域スポーツクラブ「三好さんさんスポーツクラブ」が主催して行われたもの。カローリングやソフトバレーボール、気功健康体操など6種目が行われ、参加者たちは思い思いに楽しんでいました。また、キンボールやドッジボールなどのレクリエーションも行われ、参加者同士で交流を深めていました。フラダンスやヒップホップダンスなどの発表では、一生懸命演技をする出演者に会場から応援の手拍子や拍手が送られました。ダンスを発表した女の子の一人は「家族や友達が見に来ていたので緊張しましたが、楽しく踊れたので良かったです」と笑顔で話していました。

